日本共産党国会議員団
東海ブロックニュース
2020年
7月17日
第13号

日本共産党国会議員団東海ブロック事務所
名古屋市中区新栄三丁目十二番二十五号
電話 〇五二（二六四）〇八三三
FAX 〇五二（二六四）〇八五〇
Eメール tokaiblc@ybb.ne.jp

豪雨調査

井上、武田、本村氏「コロナと大雨の２重の被害。ショックが大きい」

大雨で大きな被害が出ている岐阜県を中心に、もとむら伸子衆院議員、井上さとし、たけだ良介両参院議員が調査に入りました。

井上さとし、たけだ良介両参院議員は13日、突風で建物被害のあった岐阜県八百津町、河川が氾濫した白川町、河川氾濫や国道崩落などの被害があった下呂市を訪問。可児市の伊藤健二市議、八百津町の三宅和行町議、下呂市の中島新吾、吾郷孝枝両市議、日下部敏雄元市議らの案内で被害の状況を調べました。

八百津町では、金子政則町長、纐纈幸美副町長らから突風による被害の様子について詳しく説明を受けました。町長は、隣家が突風被害にあったといい、「記録的な大雨と突風による被害は初めて。伊勢湾台風以来だ」と語りました。

氾濫場所へ　白川町

白川町では、支部の方たちも来て、白川と飛騨川の合流地点を視察。白川沿いの駐車場は膝下くらいまで水が来たとのことで、向こう岸の道路のカーブミラーが頭の部分だけを残して水に浸かった様子などを聞きました。

下呂市では、山内登市長が応対してくれました。有名な観光地、下呂温泉は、コロナによる自粛から営業を再開した矢先の災害。「市独自のクーポンも発行して、約３割戻してきたかという時だけにガクッとくる」と訴えられ、「国道41号線と高山本線の復旧は急いでほしい」と要望がありました。

▼高山市　製材所被害３千万円

もとむら伸子衆院議員は12日、中川ゆう子岐阜県議と高山市に入り、上嶋希代子市議、伊嶌明博飛騨地区委員長の案内で同市久々野、朝日、滝の地域を回りました。

飛騨川上流の益田川と無数河川（むすごがわ）の合流する久々野町では、地元の漁業協同組合の建物や製材所、家屋などの浸水被害がありました。地元材を扱う製材所では、コンピューターや機器など３０００万円の被害に。製材所の高井茂光さんは新型コロナの影響、その直後の被災で「家族の精神的ショックも大きい」と話していました。

朝日町の西堀川と秋神川の合流地点でもバックウォーター現象で家屋の浸水被害がありました。

滝町では土砂が流れ込んだ住宅にいた女性が「ドーンと音がして地震かと思って居間から出ると、家じゅうが泥と流木だらけだった。死ぬかと思った」と話していました。

道路が削られた様子を見る井上（右）、たけだ氏（右２人目）ら

中津川、恵那でつどい　武田議員

たけだ良介参院議員は 12 日、中津川市、恵那市でつどいに参加しました。主催は JCP 恵那地区青年会議。

たけだ議員は、災害支援で被災者の声を集め運動してきた結果、個人への給付などが実現したと語り、声をあげれば政治は変わることを強調しました。また、目先の利潤を追求する資本主義社会の限界と未来社会の展望を語りました。会場で１人の方が赤旗日曜版の購読を申し込みました。

半田市で国政・市政懇談会　しまづ候補

しまづ幸広前衆院議員（比例候補）は11日、愛知県半田市の国政・市政懇談会に参加しました。

しまづ氏は各地の大雨災害について、「急激な気候変動に見合った災害対策に抜本的に変える必要がある」と強調しました。また、「コロナ禍だからこそ、経済を回復させるために消費税の減税と中小企業への支援、大幅な賃上げが必要だ」と述べ、市民と野党の共同を広げ総選挙で勝利する決意を述べました。

報告会では昨年、初当選した鈴木健一市議が活動を報告。

参加者から感想や意見が寄せられました。